

2023年度「マツダ財団 青少年健全育成関係 成果報告会」を開催しました



新型コロナウイルスの発生から3年余りが経ち、新型コロナウイルスの感染法上の分類が5月に季節性インフルエンザと同じ「5類」に引き下げられ、市民活動も活発化してきました。そうした中、今年度の研究者と市民活動団体合同による成果報告会を、2024年2月12日（月・祝）に、広島市西区民文化センターにおいて開催しました。

この報告会は、研究と実践の融合、広島県と山口県の市民活動団体の交流を目的として、研究助成と市民活動支援の終了者の皆さまにお集まりいただき開催しているものです。当日は、研究者5名（全国）、市民活動団体25団体（広島県17団体、山口県8団体）の終了者の皆さま、選考委員の先生方以外にも、市民活動に興味をお持ちの一般の方にもご参加いただきました。

プログラムの一つ目は、毎年恒例の基調講演。選考委員の千葉大学 名誉教授明石要一先生より、「少子化時代に対応した教育-『地域を育てる教育』の推進」をテーマにお話しいただきました。若者が都会に流出する問題について地域を育てるための教育が必要とのことで、山村留学のススメや廃校となった学校の活用、教育の複合化のススメや、

小中学校の総合学習の時間を使って「ふるさと納税」の地域固有の「返礼品」を考案するなど、事例を交えてお話くださり、持続する社会の在り方について考えました。話の内容は、参加者の取り組みと重なっているものも多くあり、皆さん、熱心に聴いておられました。

次に、今年度研究や活動を終了される皆さまの研究や活動内容の紹介とポスターセッ

#### <プログラム>

- \* 基調講演
- \* 研究内容紹介&ポスターセッション
- \* 市民活動紹介&ポスターセッション
- \* パネルディスカッション

ョンを3グループ（研究者1グループ、市民団体2グループ）に分けて行い、研究者と市民団体の皆さままで交流を深めていただきました。



プログラムの最後は、パネルディスカッション。長岡造形大学 准教授 板垣順平先生にファシリテーターを担っていただき、「青少年と地域のかかわりについて」をテーマに、小・中・高生を支援されている3名のパネリストの皆さまにディスカッションしていただきました。



左から、ファシリテーターの板垣先生、広島市で中学生に関わっている河原正雄様、福山市で小学生に関わっている平岩千尋様、山口市で高校生や大学生に関わっている柿沼瑞穂様

パネリストの皆さまから「各団体の活動概要と青少年のその活動へのかかわり」「青少年が地域で果たす役割について、期待と現実とのギャップ」「青少年との活動を考えている人たちへのメッセージ」について発表、意見交換していただいた他、会場の皆さまも参加型で進行され、スマホで意見や感想、質問を投稿いただいたり、その場でご発言いただいたりと、大変盛り上がりました。パネリストの皆さまは、大切にしていることとして、「目的はイベントの成功ではなく子ども達の成長」、「子ども達を導きすぎないこと」、「大人がもう少し update して今の子ども達のことを知ることも必要」等、青少年とかかわる上でのヒントを教えてくださいました。また、子ども達との活動自体を楽しみながら取り組んでおられる様子、子ども達の意見を尊重しそこからご自身も学びを得ておられるとのお話が印象的でした。

このたびの、4時間にわたって開催した成果報告会、参加者皆さまの当日の様子やアンケート結果から所期の目的である、研究と実践の融合、地域同士をつなぐ役割を果たせたのではないかと感じました。今年度終了の皆様、大変お疲れ様でした。ありがとうございました。

これからも、マツダ財団は、研究者の皆さま、市民団体の皆さまと共に緩やかな繋がりを持ち、青少年健全育成を通して地域を盛り上げて参りたいと考えています。

尚、当日の様子がわかる動画を YouTube にて公開していますので、是非ご覧ください。

[https://youtu.be/whICLv9UI\\_4](https://youtu.be/whICLv9UI_4)

<ご参考：アンケート自由記述欄より一部抜粋>

- ・市民活動の皆様からたくさんのエネルギーやアイデアを頂きました。
- ・とても興味深いプログラムでした。参加者の方々も積極的に議論に参加し、前向きなコメントをされており、有意義でした。
- ・研究助成と市民活動支援の報告会を一緒に開催するのが良いですね！互いに学びあい繋がりも生まれる場になるのですね。
- ・自分の研究を実践的支援にもっと役立てようという思いを強くする、素晴らしい会でした。
- ・他の団体さんを知る良い機会になりました。
- ・イベントによって自分たちが、目的に対してどうなのか、意識がわいてきました。

一方で、「他の研究者の先生方とお話しする機会が少なかったのが心残りです」「発表する時間が短くて残念でした」などのご意見も寄せられました。いただきましたご意見をもとに、より良い会になるよう改善に努めてまいりたいと思います。貴重なご意見をお寄せくださり、ありがとうございました。

(本郷)